

2018.9 はばたけ!



赤い羽根

平成30年度 赤い羽根共同募金運動特集

▼赤い羽根共同募金運動ポスター



少子高齢化が進む中、地域では福祉に関わる様々な課題があり、こうした課題を解決するため、地域住民によるボランティア活動はますます重要となります。

また、住民同士の支えあいの活動は、住み慣れた地域で暮らし続けるためにはかけがえのないものとなっています。

「赤い羽根共同募金」はこうした地域での福祉活動を応援しています。

※赤い羽根共同募金は災害時の支援にも役立てられています。

発行：社会福祉法人 兵庫県共同募金会

丹波市共同募金委員会

会長 長井 克己

〒669-3602 兵庫県丹波市氷上町常楽209-1
TEL 0795-82-4631 FAX 0795-82-4519
<http://blog.livedoor.jp/akaihanetamba/>



赤い羽根共同募金

Q & A



©兵庫県共同募金会

問1. 共同募金とは どういう運動ですか？

共同募金は、社会福祉法に定められた募金運動で、毎年、厚生労働大臣の告示によって運動期間が定められ（10月1日から3月31日まで）全国一斉に実施されています。

皆さまから寄せられた募金は、社会福祉協議会が行う地域福祉活動推進事業や福祉団体の活動、福祉施設の整備など、翌年に配分されています。

本会の配分内容については3～4ページをご覧ください。

問2. 共同募金はなぜ 必要なのですか？

行政では、法律や条例などにより福祉事業が行われていますが、行政だけでは取り組むことが難しい部分について共同募金が役立てられています。

住民自らが多様な福祉課題に取り組む活動や地域での福祉活動の推進、福祉団体等の活動を支援するためにますます必要となっています。

問3. 戸別募金だけでなく、 街頭や職場でも募金をお 願いされ、何重にもな っているように思うの ですが…？

共同募金運動は、市民の皆さま一人ひとりにそれぞれの立場でご協力いただくことをめざしています。各世帯だけでなく、街頭や職場でも呼びかけているのは、この募金運動をきっかけとして、地域の福祉に関心を持っていただきたいからです。

募金を集めるだけでなく、「誰もが福祉について考え、身近なところで参加できること」も目的としているため、色々な方法で募金運動を展開していますが、それぞれの立場でご協力いただければ幸いです。

問4. 募金なのになぜ協力 目安額があるのですか？

共同募金は、決して寄付額を割り当てる募金ではありません。

事前に県内の福祉施設や福祉団体、社会福祉協議会などから、事業を進めるためにいくら必要なかの要望を受け付け、配分計画を立てて目標額を定めています。

戸別募金には協力目安額700円を設定していますが、これは丹波市共同募金委員会が立てた計画に基づくものであり、市民の皆さまに趣旨をご理解いただき、任意でご協力いただければ幸いです。

つまり、募金はしようと思うけれど、どれくらい協力したらいいかわからない場合の「目安」としてお考えください。

篤志募金・法人募金にもご協力をよろしくお願いたします



ご家庭におきましては、自治会長様を通じて戸別募金へのご協力をお願いしていますが、さらに本運動の趣旨にご賛同いただける方や団体、企業等がございましたら、丹波市共同募金委員会（☎82-4631）までご連絡ください。各支所を通じて職員または募金協力員が訪問させていただきます。



昨年度、皆さまにご協力いただいた募金は、 このように配分され活用されています。

©兵庫県共同募金会



平成30年度丹波市社会福祉協議会への配分額 12,808,000円

活 用 目 的	配分金の活用額
地域福祉活動推進事業 地域福祉推進支援事業、福祉機器貸出事業	1,368,000円
福祉教育推進事業 市内小中学校が取り組む福祉教育助成	550,000円
地域住民グループ支援事業（ふれあい・いきいきサロン） 実施サロン活動支援助成、サロンボランティア研修	5,450,000円
ボランティア活動事業 養成講座、体験教室、ひとり暮らし高齢者宛暑中見舞い・年賀状発送経費、ボランティアグループ助成、災害ボランティア支援助成	1,900,000円
ボランティアまつり助成事業 ボランティア団体の活動発表ならびに交流、一般の方へ啓発するためのまつり開催助成	600,000円
共同募金配分金事業 在宅寝たきり者世帯への歳末見舞贈呈事業、助成事業(市内保育園・認定こども園、丹波市身体障害者福祉協議会、丹波市特別支援教育研究部、丹波市手をつなぐ育成会、丹波市婦人共励会、おもちゃライブラリー、当事者団体等)	2,940,000円
合 計	12,808,000円



今年度実施する募金は、平成31年度の事業に活用する計画です

α(※共同募金は計画募金です)

共同募金は計画的に事業を行うため、事前に計画を立てる計画募金です。このため事業を行う上で必要な目標額を設定しています。

今年度（平成30年度）ご協力をいただいた募金は、次の年（平成31年度）に下表の事業に活用します。

平成31年度に
事業を行うために必要な金額

=

平成30年度の丹波市共同募金
委員会の目標額

今年度募金目標額
14,187,000円

1,141,000円

県内の福祉施設・各種福祉団体等へ配分

546,000円

丹波市共同募金委員会事務経費として配分

12,500,000円

丹波市共同募金委員会へ配分され、
地域福祉活動事業費として活用

福祉教育推進事業 市内小中学校が取り組む福祉教育助成	550,000円
地域住民グループ支援事業 ふれあい・いきいきサロン活動助成等	5,450,000円
ボランティア活動事業 ボランティアグループ等活動助成、ボランティア養成講座	1,800,000円
ボランティアまつり助成事業 ボランティア団体の活動発表ならびに交流、一般の方へ啓発するためのまつり開催助成	600,000円
共同募金配分金事業 地域福祉推進支援事業、福祉機器貸出事業、在宅寝たきり者世帯への歳末見舞贈呈事業、福祉団体助成事業(丹波市手をつなぐ育成会、丹波市身体障害者福祉協議会、丹波市婦人共励会、丹波市特別支援教育研究部、おもちゃライブラリー、市内保育園・認定こども園、就労継続支援B型事業所、児童養護施設、高等学校、特別支援学校等)	4,100,000円
合 計	12,500,000円

共同募金は、何に使われているの？

赤い羽根共同募金は、皆さまからのあたたかいご支援により成り立っています。

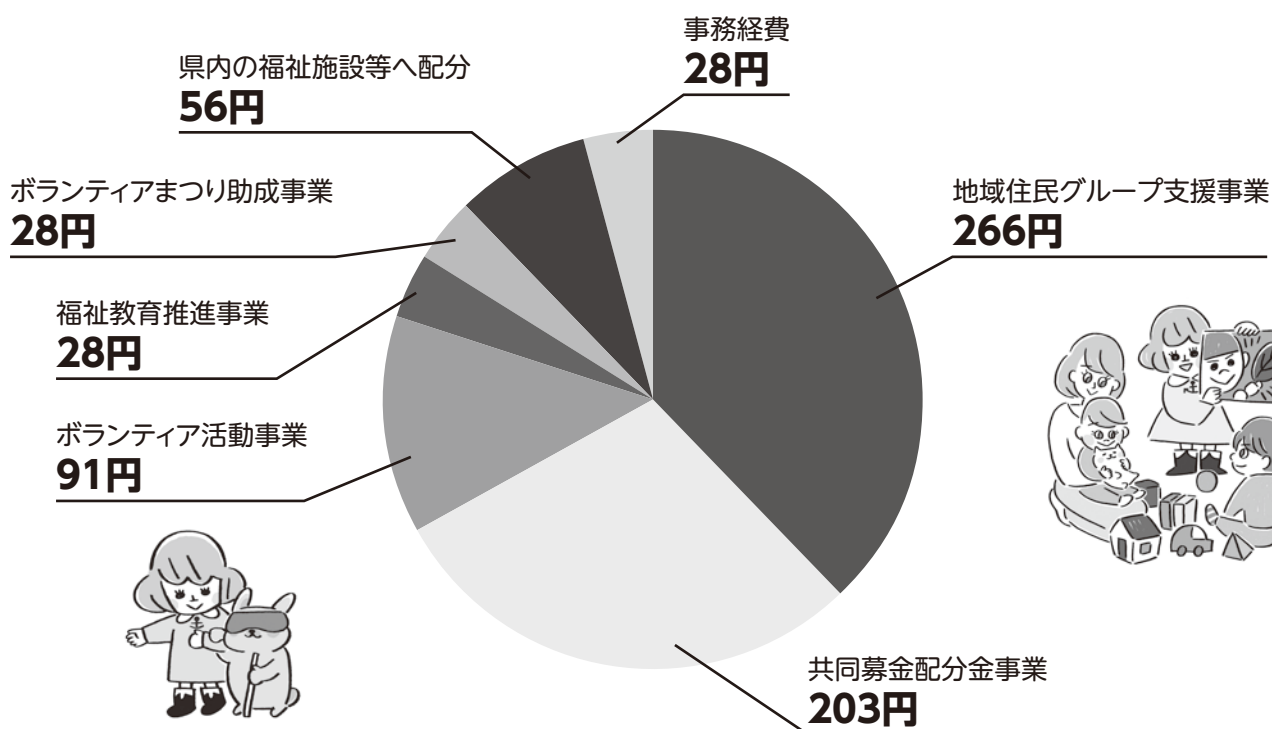
集められた募金は、丹波市社会福祉協議会を通じて高齢の方や障がいがある方への支援、福祉教育の推進など、様々な事業に活用されています。



©兵庫県共同募金会
あかはねちゃん

戸別募金(700円)の使いみち(内訳)

戸別募金の目安となる700円の使い道をP4の表にあてはめると以下のとおりになります。



昭和22年(1947年)にスタートした共同募金運動は、おかげさまで72年を迎えました。長年にわたりご協力いただいた寄付者の皆さま、運動に携わってきたボランティアの皆さまに心より御礼申し上げます。

共同募金運動は、第二次世界大戦後に「国民たすけあい運動」として始まりました。現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域課題解決に取り組むため、地域の福祉活動を支援しています。今後ともより良い地域づくりのために、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



寄付つき商品・企画で地域に貢献しませんか？

丹波市共同募金委員会では、『寄付つき商品・企画』で地域に貢献していただく企業等を募集しています。

企業の本質を活かした『寄付つき商品』を企画することができます。

自社の強みを活かしながら、丹波市を良くするための社会貢献活動に、参加しませんか？



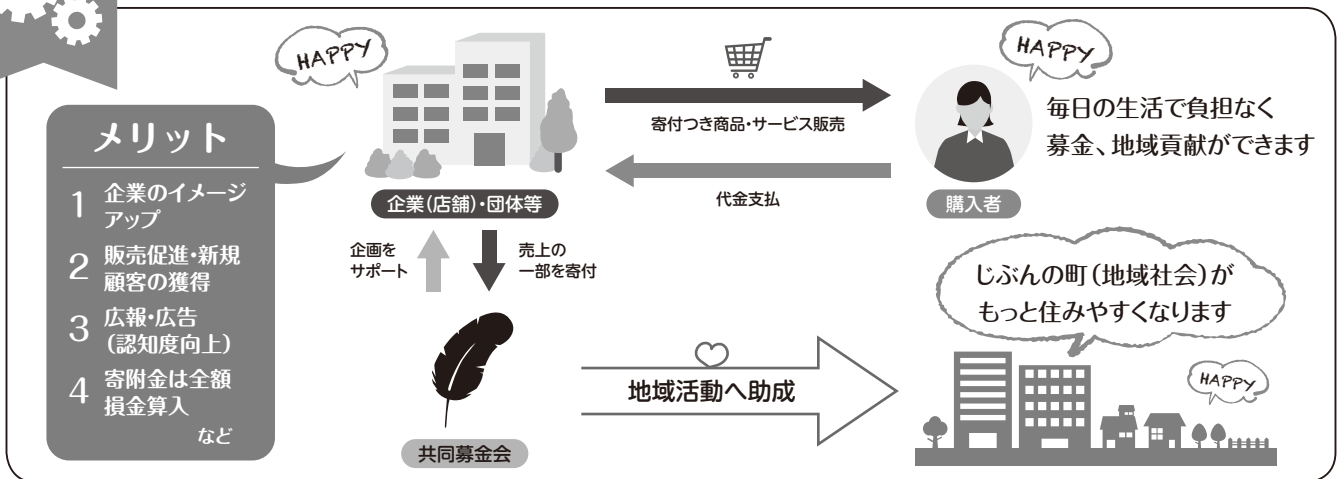
募金百貨店プロジェクトとは？

「募金百貨店プロジェクト」とは、“寄付つき商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付することにより、地域社会に貢献する企業・団体等を募集するプロジェクトです。

購入者の負担はなく、企業のイメージアップや販売促進、社会貢献につながる、Win-Winの関係の構築を図るものです。



募金百貨店プロジェクトのしくみ



だれもが笑顔になれる地域貢献のしくみ、それが募金百貨店プロジェクト。

詳しくはお問い合わせください



丹波市共同募金委員会

〒669-3602

丹波市氷上町常楽209-1

電話 82-4631 FAX 82-4519

はばたけ！赤い羽根ブログ

<http://blog.livedoor.jp/akaihanetamba/>

